

総務財政委員会	
令和5年6月19日・20日	
企画経営部 資料1番	
所管	企画課

大田区、川崎市及び東京都の三者による「空港臨海エリアにおける水素等の次世代エネルギーの利活用拡大」に向けた連携協定の締結について

大田区、川崎市及び東京都の三者は、産業競争力の維持・強化、エネルギーの安定供給及びカーボンニュートラルの実現に有効な手段である水素等について、三者が連携・協力して利活用拡大することを目的とし、協定を締結した。

今後、空港臨海エリアにおける水素等の供給体制の構築や需要の拡大等について三者で連携して推進し、首都圏ひいては日本のカーボンニュートラル化に貢献していく。

- 1 締結日 令和5年6月1日（木）
- 2 場 所 コングレスクエア羽田
（羽田イノベーションシティ ゾーンJ）
- 3 協定締結者 川崎市長 福田 紀彦
大田区長 鈴木 晶雅
東京都知事 小池百合子
- 4 協定内容
 - (1) 水素等のパイプラインを含めた供給体制の構築に関すること。
 - (2) 水素等の需要の拡大に関すること。
 - (3) これらに資する調査などの実施、水素利活用の広報・普及啓発に関すること。